

# かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議 事務局長 芝 忠  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F  
 TEL045-633-5192 FAX045-633-5194  
 Email: zan25564@nifty.com http://www.kanagawa-iguren.com

## 第9回異業種交流・融合化推進研究会（要旨報告）

かながわ異グ連事務局

長い平成不況に加え、急峻なグローバル化の進展により、受注減、価格競争力の低下、技術有意差の消滅等々にさらされている中小企業経営者の皆様は、生き残りをかけた経営革新戦略の一つとして、「事業連携による経営資源の補完手段としての“異業種交流”」に参加されています。また国は、「交流の効果を高めるため、多様化・異質化したニーズとシーズ融合化の産学官連携」「雇用の創出をめざした企業予備軍の発掘（創業）」に力点を置き始めているようです。

このような中で、去る1月22日（木）東京全日空ホテルで標題の研究会がありました。かながわ異グ連の芝事務局長が、異業種交流グループの都道府県連合体（協議会等）のあり方について問題提起をさせていただきましたので、その要旨を報告いたします。

・・・

- \*異業種交流グループは参加経営者個々の直接的な参加目的に答えなければならない一方で、参加者の最大公約数的な満足を求めることも重要であり、そこに企画運営の難しさもある。  
連合体（協議会等）は、そのようなしぼり（制約）が少なく、世の中を切り開いていく**大胆な活動**ができる可能性がある反面、何もやらなくても済んでしまう。そこに連合体（協議会等）の解散論や不要論が発生する。
- \*中小企業総合事業団機関誌「中小企業振興」（月2回発行）で、中小企業白書の概要を連載しているが、その中で「薄れる下請のメリット」と、「異業種交流は事業連携の苗床」という指摘がありました。  
中小企業の自立化、脱下請けは事業連携であり、事業連携を成功させるためには異業種交流のノウハウが有効であると理解できる。
- \*連合体（協議会等）の活動を考える上での参考として、僭越ながら「かながわ異業種交流センター事業化支援プロジェクト配置図」で神奈川県での事例を紹介します。  
裏表の記載プロジェクト全体で約4千万円の予算があります。裏のコンソーシアム事業が主体で、ライン（中小企業センター）が産学官連携による事業化の促進を「医療・福祉、新製造技術、環境、IT、バイオ」という5分野で進めています。ビジネスコーディネータの派遣、テクニカルショウヨコハマへの成果展示、さらに昨年より1プロジェクト100万円の補助金を前払いという画期的な制度が加わりました。  
しかしコンソーシアム事業は単年度支援が基本なため、これをドロップアウトしたプロジェクトや、産学官連携まで行かず民間主体で展開されているもの、あるいはコンソーシアム事業へ挑戦前の準備段階のもの等々をかながわ異グ連が支援をするという形を取っています。
- \*社会的要請、技術的要請を鑑み、連合体（協議会等）がテーマを提案し、県内の企業に呼びかけプロジェクトを発足させた中の1例として「満天プロジェクト」があります。  
日本のロケット部品の国産率は約3割という危機的状態であり、日本のものづくりの観点からもロケット部品産業に参入しようと、呼びかけ約30社で発足し、今年度100社を目標にしています。既にJAXAから推進システムの一部の試作引き合いがあります。  
冒頭、連合体（協議会等）が、世の中を切り開いていく大胆な活動と申し上げましたが、地域ごとに行政も踏み込めない、異業種交流グループ単体では対応できないようなテーマに連合体（協議会等）の存在意義があるのではないかと考えます。
- \*国の視点が「産学連携」「創業・ベンチャー支援」に重点を置きはじめている事は、我々の異業種交流活動の分野を広げる絶好のチャンスである。連合体（協議会等）は今一度経営者の目線に立って、経営者のニーズに注目し、大胆な事業方針の見直しを行うことが肝要です。
- \*交流の成果を高めるためには、“広域化”も重要なキーワードである。ビジネスチャンスを増やす全国組織作りの核は都道府県の連合体（協議会等）であると考えています。  
この全国組織作りは言うは易いが、なかなか難しい考慮すべき課題が多々あります。一つは全国の企業に対する**相談機能**が入り口です。次に**販売ネットワーク**をどう作るか、三つ目が事業化以前の問題である**商品化支援**、四つ目が成功失敗例、技術動向等々の**情報提供機能**、最後にプロモーションとしての交流会・商談会等々を**企画・開催・運営する機能**です。

※第5回INF今治大会での全国広域ネットワーク作りの検討結果は、まず「**条件の合う意欲のある地域がまず賛同して組織作りをやる**」、次に「**支援者、コーディネータを何人が配置する**」、三つ目に「**合議制でトラブル対策を図ることを協定に盛り込む**」、また「**参加者のデータベース作り**」、さいごに「**こういったことを具現化する研究会を作る**」でありました。

以上を要約しますと、一つは連合体（協議会等）は地域で大胆にリーダーシップを取っていきたい。第二は他県の連合体（協議会等）とともに新たなネットワークを作ろう、というのが本日の問題提起です。

### 主要なかながわ異グ連のプロジェクト、及び研究会の状況報告

#### 公的補助金プロジェクト

松井BC記

去る1月16日（金）、40数名の方が参加して第1回「公的補助金活用・普及セミナー」が中小企業センターにて開催されました。

第2回は、2月26日（木）に開催する予定です。公的補助金プロジェクトでは、これとは別に神奈川県下の各地区において同様のセミナーを開催することを計画していますが、その最初のセミナーを次の要領で開催することになりました。

- ・「横浜金沢地区・公的補助金活用・普及セミナー」
- ・日時：2月17日（火）14：00から17：00
- ・会場：金沢産業振興センター 2階 会議室
- ・講師：芝 忠
- ・申込：公的補助金活用普及研究会 事務局長  
志岐 弘之 [bsupport@dream.ocn.ne.jp](mailto:bsupport@dream.ocn.ne.jp)

#### 第26回「中小企業政策研究会」

有村BC記

「中小企業政策の動向」と題して、経済産業省関東経済産業局の情報政策課長明田任功氏にお話をいただきました。平成16年度予算と主要施策に詳細説明や、中小企業の経営革新を進める情報化施策として「IT活用型経営革新モデル事業」の紹介があり、大きく効果を上げた事例では来場者も熱心にメモを取っていました。最後に中小企業は、「施策は何をしてくれるのか」ではなく「自社が何をしたいのか」を軸に施策利用を積極的に考えて欲しいと結ばれました。現在の中小企業施策は「やる気と能力のある中小企業に対して」と題されることが多いが、これは弱いところを捨てる意味ではなく、全ての企業がポテンシャルを持っており、その良さを活用していく、という意味であると強調されました。まさに「施策も使いよう」であり、利用者・支援者は多いに研究すべきであると認識を新たにいたしました。

#### 都市（関内）再生プロジェクト

織方BC記

1月14日（水）は、今年第1回目の例会。予定通り、馬車道Sビル空室を、全メンバーで視察し、用途提言については、**次回2月12日（木）**討議することとした。尚、今後共、2～3の空室ビルを視察後、グループ毎に、その用途開発に関し、コンペ方式でビルオーナーに提案する方向でまとめる予定として、併設して、マスメディア、行政機関等の外部講師を招き、研究することとした。

#### 韓国（日韓ビジネス協議会）

高橋BC記

第39回日韓ビジネス協議会は、1月28日（水）に新年会を兼ねて開催致しました。

- 挨拶：瀧澤会長
- 会社紹介および日韓SOHO交流会について：  
（株）デジタル課長 孔 仁淑氏
- 東洋経済日報新聞社の新春座談会および最近情報：  
（財）韓国貿易協会 東京支部 支部長 朴 良燮氏  
（都合により出席できず高橋が代行説明）
- 日本事務所・新就任挨拶および最近情報：韓国中小企業振興公団 日本事務所長 朴 魯鍊氏
- 「日韓間の電子商取引サイトE ampについて」：  
（株）国際ビジネスサポートサービス

取締役副社長 千田 泰弘氏

新年会はセンター近くの和風イタリアンレストランで開催しました。出席者は17名でした。**次回は2月25日（水）**5階会議室にて開催致します。参加は自由ですので関心ある企業の参加を歓迎致します。会費は1,000円です。

\*どなたでも参加自由です。会員以外の参加者は高橋（045-311-0094）まで連絡して下さい。

<p><b>高機能・環境舗装等プロジェクト</b> 織方BC記 事業主体としての、製販体制・R&amp;D体制・量産体制・特許申請範囲等、実務的なテーマが多くなってきた。この2～3ヶ月が、一つの山場と思われる。大学の連携先としては、関東学院大学土木工学科の出雲淳一教授を』予定することになった。なお、テクニカルショウヨコハマ（2/4～6）のブースに、模型や試作品等の展示の内容で出展した。</p>	<p><b>異業種交流活性化研究会</b> 小野川BC記 1月19日活性研では、行政や支援団体の調査報告書に見る「目的」「成果」を学習し、討議した。 ・行政やマスコミはハード面の成果を求めるが、経営者は真に何を求めているかの見極めも重要。 ・企業がゴーイングコンサーンとして、継続発展していくためには、単発の開発も重要だが、ソフト面の成果が必須である。 等々の意見が出た。 次回は“成果を生み出す異業種交流とはどうあるべきか”を主題に討議しますのでぜひ皆さん参加してください。 <b>次回は2月23日（月）am10:00から</b>、センター交流サロンです。多数の参加を期待しています。</p>
<p><b>三浦海洋深層水を楽しむ会</b> 八幡BC記 このたび海洋深層水風呂を始めた城ヶ島京急ホテルで食事と入浴を楽しんだ。1/24（土）水仙まつりでにぎわう城ヶ島で中島博士から海洋深層水を分りやすく教わり、その後、メンバー各自が当会に寄せる夢を語り合い、今年は何か出来るという感触をつかんだ。帰りには会長から新製品の豆腐を一丁宛て頂いて家庭で試食した。</p>	
<p><b>新防食技術活用プロジェクト</b> 田中(繁)BC記 来る<b>3月3日（水）の午後1時30分より神奈川県立「かながわ労働プラザ」</b>において、中小企業の経営者及び技術者向けの防食対策と防食技術活用の事例を中心に解説するセミナーと技術相談会を実施します。腐食、防食対策は中小企業にとって重要な技術なのですが、的確な処理ができず、思わぬトラブルに遭遇して大きな損失を出している例が多く見られます。また、技術進歩の早い今日では中小企業の活力再生には経営者、技術者のリカレント技術教育も必要となってきました。当プロジェクトでは中小企業のための技術活用セミナーを開催し、中小企業皆様が困っておられる問題解決に貢献したいと考えております。是非ご参加ください。申し込みは異グ連事務局へ（電話：045-633-9152） プログラム詳細は異グ連ホームページ URL：<a href="http://www.kanagawa-iguren.com/yotei/kawasaki-01/">http://www.kanagawa-iguren.com/yotei/kawasaki-01/</a></p>	

! 新規!

**かわさき経済人ネットワークサロン**

! 新規!

&lt;&lt;第1回会合(発足会)&gt;&gt;

日 時: 平成16年2月25日(水) 18:00~20:30 (見学会参加者は17:30集合)

場 所: かながわサイエンスパーク(KSP)内、(株)ケイエスピー西棟 3階310会議室

川崎市高津区坂戸3-2-1、西棟3階 電話:044-819-2001(代)

アクセスマップ:<http://www.ksp.or.jp/geninfo/chizu.html>

参加費: 1,000円 当日支払い(懇親会費を含む) 参加者40名を想定

テーマ: KSPの新事業立上げと支援ネットワーク紹介を基に新規事業支援について意見交換

スケジュール

17:30 KSP インキュベーション関連施設等の見学会(310会議室にご参集ください。)

18:00 開会 新産学交流サロン発足の背景と趣旨 神奈川県異グ連議長 南出健一氏

18:10 報告1「(株)ケイエスピーのビジネスインキュベーションの現状と課題」

(株)ケイエスピー 取締役 志茂 武氏

18:30 報告2「創業の経緯、ねらいのビジネスモデルと現状」

(KSPインキュベーター入居企業)プラネットワークス(株)代表取締役 猿渡一秀氏

19:15 懇親会と自由な意見交換(かわさきの産業活性化に関するご意見等)

20:15 終了(参加希望者が多ければ2次会もアレンジします)

\* 参加申し込みはFAXまたは電子メール([shigeo.tanaka@m2.people.or.jp](mailto:shigeo.tanaka@m2.people.or.jp))でお願い致します。

FAX:045-633-5194(神奈川県異業種グループ連絡会議事務局、電話:045-633-5192)